

それじゃ実践パートに入る前に必要な知識のレクチャーをはじめるわね。

■はじめに

まずは前回に絡んだ部分を軽くおさらいね。

前回の稽古をしてわかった通り、物事やエネルギーの循環は基本的に「等価交換」なの。

だから、そうした法則を実感として感じ始めるとエナジーバンパイアという存在がいかに異質で気持ち悪いかって事を前よりも深く実感できたはずよ。

エナジーバンパイアはこうしたやりとりを、こずるい為替レートを使って行っているからね。これは銅貨を相手に差し出して、金貨をせしめるようなやり口で、それだけならまだマトモな方。

これがもっと小ずるい奴になると、何も差し出さずに相手から金貨をせしめたり、更に下劣な存在だと「良い物と錯覚させて自分の病気を相手に押し付けて、相手からはこっそりと金貨や健康をせしめる輩」すらいるわ。

それはエネルギーの世界では異質な行為だし、エナジーバンパイアってのは文字通り、星とそこに住む存在たちにとって害悪でしか無いわ。

ええっと…話を戻すわね。

ということで「与えてから、もらう」という行為は本当に奥が深くて誤魔化しがきかず、カルマに直結した行為なので、まずはこの部分をもう一度思い出してから以下の文章を読み進めていくってね。

■エナジーバンパイアとリーパー

じゃあ実践パートに移る前に、今日学ぶ事になるエネルギーと審判の技法「リーパー」についての説明をするわ。

と言っても、いきなりリーパーの説明をする前に、君はまずは前提となる幾つかの知識を身に付ける必要があるから、そういった知識も踏まえて説明していくからね。

少し回りくどく感じるかもだけど、頑張ってついてきてね。

■エネルギーについて

初日のおさらいになるけど、エネルギーの法則を改めて話すわね。

1：エネルギーは常に等価交換であり物々交換であること。

2：エネルギーは常に先出しすること。

これが基本の仕組みね。

相手に届けるものとしては精神的なものだと尊敬や感謝の心、精神力、優しい思いや強い念力、運気や情熱、愛情、タイミングや出会い、知識やアイデアなどが該当するわ。

これが物理的なものなら、例えば時間だったり労働だったり、お金や物や…重力や電気や熱力とか石油も広義ではそうね。

何らかの捧げ物を先出しして対象へと届ける。

そして、対象は君に反応してエネルギーを返してくれる。

「何かを与えて、何かを貰う」

これが万物のコミュニケーションのやり方で、エネルギー循環の基本ね。

やりとりするエネルギーは「活動するための良い力」であれば何でも構わないわ。

■循環について

最初にも話したけど「銅貨を出して金貨をせしめる」ような詐欺同然の卑劣な為替レートは、エネルギーの世界に偏りや停滞を生み出し、星の寿命を縮めるわ。

水に例えると、もしも川の水が人為的に一部に集められたり、せき止められたりしたら、流れがない場所が生まれて水が死んでしまうし生態系も崩壊してしまうのと同じね。

それがもしも星の単位で行われたとしたら危険なことになるのは当然。

エナジーバンパイアがのさばるのは、星とそこに住む生命体や精神体にとって命に関わる重大問題だし、エネルギーとしても見ても偏りや停滞が生まれて世界全体が悪くなっていくわ。

エナジーバンパイアの存在は百害あって一利なし。

それを放置しておくことは、ある意味では世界を悪くする行為に加担しているとも言えるわね。

エネルギーは綺麗に循環してこそ、うまくいく物なの。

それが一部の場所だけに貯まっていたり堰き止められていて他の場所に巡らなかつたりしたら、それは不自然よね？

こういった大きな視点や正しい知識を所持していると、世界や人に対する感じ方が変わってくるわ。

「世界の水の循環や均衡を邪魔しているダムがあるから破壊した」
その結果として不自然なダムで私腹を肥やしていた存在がその後どうなろうが正直知ったことじゃないし。

そもそもダムを造る行為自体が星にとって大迷惑なんだから、ダムの関係者がどうなろうと、それは全て自業自得なのよね。

法則に従い世界を回す。
その結果、裁かれるべきものが裁かれる。
これが本来の正しい意味での「罪と罰」の仕組みね。

今の言葉の中には正しく流れる自然のあり方と、それと同時に不自然なものへの気付きのヒント、世界にはびこる既存の曲がった教えを看破する内容も織り込まれているからしっかり覚えておいてね。

■物事の貸し借りについて・星の未来と命について
君の住む世界では、ほとんどのやりとりの単位が「金」という物で推し量られているわ。
金でのみ物事の貸し借りが行われているから、それに対して勘違いしやすい事柄に関しても説明しておくわね。

これは、この世界に生きている人間が不幸を連鎖させている大きな原因の1つと言っていい内容だからしっかり聞いてね。

まず、この世界ではお金の貸し借りで物事の優劣を決めることがあるわよね。

例えば「俺はアイツが大変な時に100万円を貸したから、アイツは俺に借りがある」ってのが、よくあるパターンよね。

これはエネルギーの法則においては確かに貸し借りであるから有効なんだけど。
1つだけ大きな盲点があるわ。

それは…「貸し借りは何も『お金』だけがその単位ではない」ってことね。

例えばお金を貸した人がA、借りた人がBだとしましょうか。

確かにBはAに対して借りがあるんだけど。
もしもだよ？

Bが大学生時代にAに色々としてあげて、Aに対して彼女ができるようセッティングしたとするわよね。

で、Aはその恋人と卒業後に無事結婚して、その女性の内助の功のお陰でAが結果的に億万長者になれたとしたら、どう思う？

これはカルマやエネルギーの法則、時間と未来線の観点からしたら、むしろAという人間はBに対して返しきれないほどの大きな借りがあり、100万円程度を貸したくらいでは返しきれないほどの恩を借りていることになるわ。

だから本来であればAこそが、Bに対して莫大な金銭もしくは何らかの形でBに対して支払いをしなくちゃならないの。

でも現実は逆だよね。

この世界の人間の大半は、君のように優れた感覚や知識、洞察力を所持していないから、Bが行ったような「人の運命を変えるような大きな影響や、思いやりや、してあげた大きな出来事」は何もなかったことにされて。

逆にAのように物質的に目に見えて請求書として計上できる「お金」のやり取りだけが「貸し借りの単位」として計上されるわ。

これは人類が犯している最も愚かな行為の1つで悲劇を生み出す原因ね。

これがいかに愚かしい行為かは、今の君なら理解できるだろうけど…残念ながらこの世界にいるほとんどの人間は、その能力の問題や信念体系に思考を侵されている故に、こうした観察を、知識としても感覚としても理解することが出来ないわ。

まあ、それだから落とし穴にすっぽりとハマっちゃうんだけどね…。

本来であれば貸し借りは「物質」だけじゃなく、思いも、未来も、運命の変化も、縁も、情も、恩も、形にならないものも全て合わせて「貸し借り」なの。

エネルギーの法則を学んだ君なら、その意味がわかるだろうけど。

でも、この星ではそういう目に見えないものは全て無視されて、物理的に出された「金銭の請求書」だけが猛威を振るっているわ。

そうなると、どうなってしまうかっていうと…もちろんうまくいくはずがないわよね。

優しく暖かく思いやりがある人間というのは、本来はその存在自体が素晴らしい価値であり宝であり、星や宇宙、命への貢献なの。

星と生命の進化の見地で言えば、年に10億稼ぐ経営者が100人いるよりも、優しい人間が1人いる方が本質的には遥かに価値があるし、世界や星に対して大きく貢献しているわ。

でも現実は…見えない形で星や生命に対して貢献している大きな存在たちが「役立たず」と迫害されたり搾取の餌食になったりしているし。

逆に数字計算や金儲けだけが得意な搾取者たちが賞賛されているわ。

そうした不自然な出来事をこの世で何度も何度も繰り返していると、やがては力を生み出すことが出来る高貴な魂たちは全員、この愚鈍な惑星に見切りをつけていなくなってしまうわ。

星を回復し維持できる力を持つオーラの持ち主、精神性の高い存在たちが星から出て行けば、もちろん星の力はどんどんと弱くなるし、やがては自分自身で力を生み出すことができない残り力ス…搾取の系譜しか、この星に残れなくなるの。

高貴な魂たちが星から去ろうとする時の具体的な兆候としては。

天変地異や異常気象の増加、社会で言えば凶悪犯罪率の増加や社会不安の増加、冷酷な管理・監視国家への傾向強化、民衆自身による相互監視社会の傾向強化、異常な攻撃性を持った人間の増加、動物的な脊髄反射による他者への攻撃性の増加、ルールを他者へ強要する人間の増加などね。

高貴な魂がこの星に愛想を尽かして去るほどに、こうした現象は加速度的に増加していくわ。

そしてやがては、エネルギーを生み出すことができる高貴な魂は星に一人もいなくなるの。

そうなってしまえば、いくら金儲けができる搾取ができる…後はわかるわよね？

それに従い、この星は全時空の中でも有数の最下等エリアとなり、そこには乞食以下の精神性しか持たない飢えた野良犬のような存在のみが徘徊する荒野だけの悲しい星になるわ。

今話した内容は、この星の未来選択肢の1つ「最悪解」の映像で、ある観測室ではごく低い可能性だけど起りうる未来として観測されているわ。

でも、それはさすがに悲しい結末だから、あたしとしても回避したいところなのよね。

…ちょっと怖がらせちゃってゴメンね。

でも、一応この星の現状も伝えておかなきゃいけなかったから。

まあ、今の悲しい可能性が実現する事は実際にはほぼありえないだろうけど、こうした未来観測を通して、いかにエネルギーの循環や感謝の気持ちが重要かが理解できたはずよ。

ということで！

君はこうしたカルマとエネルギーを合わせた知識と感覚をちゃんと学んで、体感として感じなきゃダメだからね！

逆に言えば、これがわかれば、どうして隣のあの家族がうまくいかないのか、どうしてあの人間はいつも苦虫を噛み潰しているのかなど、あらゆる人間関係での事象が前よりも格段に見抜けるようになるし、こうした事態への解決策もわかるようになるわ。

エネルギーの法則は本当に役立つ実戦的なものだから、是非身につけておいてほしいわ。

■ 「基本は先出し」が出来ないエナジーバンパイアの致命的弱点
何度も言うけどエネルギーの法則の基本は「先出し」ね。

「これをあげるから、それをちょうどい」

物々交換の基本ね。

しかも、これは君から切り出した提案なんだから、君から先に支払うのは当然よね？

さて！

今の話を聞いた後に、よく考えると…エナジーバンパイアには、ある一つの致命的な弱点があることに気付かない？

つまり…。

あいつらは、対価を払わずに他人から盗んでいるわよね？

これって、かなり怖いことだと思わない？

え、思わない？

ふむふむ…。

「だって、他人から盗んでもヤツらは何も罰を受けていないから、そうは思わない…」か。

へえ…。

ぼーっと話を聞いてるかと思ったら、なかなか良い着眼点じゃない。

今の君の疑問の中には、エネルギーを扱う上での最大の秘密が隠されているわ。

確かにあいつらは罰を受けていないわ、その通りよ。

それは何でだと思う？

答えは簡単。

それは「請求」されてないからよ

あいつらのやってることを表面レベルで見れば、他人から力を奪いまくって楽をして富を得ているように見えるわ。

でも、それは大きな間違い。

あいつらのやっている技法は、本質の世界では超ハイリスクかつローリターンな技なの。

説明しよっか？

あれはね…例えるなら「金を返すアテも無いのに、担保無しで巨額の金を借りてる」ようなモノなの。

もしも君の生きているこの現代社会でそれをしたらどうなるか、わかるわよね？
終わりのない借金地獄か、臓器を取られるか、もしくは生命保険のために不思議な事故で他界するのがパターンよ。

でも…じゃあ何でそんなリスクーな事をしている奴らが罰を受けないかと言えば。
「奪われた側」がそれを理解していないし請求書を発行しないからよ。

知っての通り、運気や念、想いや愛情などの精神エネルギーは普通の人間には見えないわ。
だから仮に、運が他人に奪われたとしても、盗まれた側はそれに気付けない。
ただ理由もわからずに「最近運が悪いなあ」とボヤくのがせいぜいね。
奴らはこうした「見えない」ということを逆手に取って、他人からエネルギーを黙って奪い取っているの。

もう一つの理由は「請求書」を発行していないから。
例えばお金の貸し借りでも、口約束だと破られる可能性があるし、最悪、裁判を行わないと返して貰えないケースがあるわよね？
いわば踏み倒し、それと同じよ。
でも、裁判を通して司法が動きはじめると逃げられなくなり、払わざるを得なくなるわよね？

つまり…。
人間は他者にエネルギーを奪われてもそれに気付けないし、仮に気付けたとしても「請求書」を相手に発行して要求しなければ返しては貰えないわ。
この二つの知識が、この星に住む人間には決定的に欠けているから、低俗なエナジーバンパイアなんかにいいようにされちゃうのよ。

いい？
こうした詐欺師たちが使う術は、本来で言えば圧倒的に不利で危険なものなの。

「物々交換もせず、担保もなしで他人から力を黙って奪う」

これは、もしもやり口がバレて奪われた側が激昂して請求をしたら、奪った側は文字通り「全て」を無条件で差し出さなきゃならなくなるわ。
資産も地位も名譽も運気も健康も…その気になれば命や魂の存在すらも…ね。

本質の世界では無意味かつ理不尽に攻撃した側は、この上もなく不利になるの。
文字通り「悪意を持ってやった側が全て悪い」と解釈されるわ。
だから、ああいった詐欺師たちのやり口は浅はかっていうか…この上もなく無知で、言葉に出来ないほど愚かね。
もしも誰かがそれに気付き請求をしたら、たちまち全てを奪われるっていうのにね。

これは麻雀で例えれば、君はいつでも最強の手で上がる状態にあって、しかも相手は毎回君に對して当たり牌を振り込んでいるような状態よ。

君がその気になってツモれば相手は一発で箱割れ（ハコワレ）になるわ。

この法則をまとめると。

①エナジーバンパイアは他人のエネルギーをかすめ取っているが、それはあくまで被害者側が被害届や請求書を出していないから罰を受けないだけで、被害者側がそれに気付いて請求を行えば、加害者側は優位な立場を奪われ一気に不利な地点へと落ちてゆく。

②精神物理問わず、悪意を持って「最初に攻撃した側」が、法則においては絶対的に不利な立場に立たされる。

③無断で奪った側は、奪われた側が請求をした場合、その請求する量や内容を全て飲み込み無条件で差し出さなくてはならない。

って感じになるわね。

…どう？

これは人によってはこの仕組みを聞いた瞬間に「聞くんじゃなかった…」って身震いするほどに危険な知識ね。

この知識を使用すれば、自分から金やエネルギー、能力など大事なものを奪った相手から全ての力を取り戻すことも出来るわ。

■請求する事

つまり今回の技法に関しては「請求する」って事が重要になるワケね。

「請求する」

こんな簡単なことがこの星では巧妙に隠され、煙にまかれているわ。

「人を呪わば穴二つ」とか「復讐は何も生み出さない」って言葉は、一番最初に汚いマネをして財を成した系譜たちが、その後の報復を恐れたために世間に振りまいた迷信や考え方なの。

ホラ、歴史でもよくいるじゃない。

元々普通の身分だった奴が、成り行きで地位や力を持ったら、自らを王族と呼称し法律を制定し身分を固定させて、後からは誰も王族になれないようにさせるような汚いやり口。

アレと同じね。

あいつらは自分たちがした悪事を露見されたくないし、請求されたくないから必死に隠しているけど。

まあ、やった事はやった事だからね。

キッチリ請求して落とし前をつけさせないとね。

■まとめ

ということで！

何故エナジーバンパイアがいてはいけないのかを星の未来と生命の観点から話したし。

そうした存在がなぜ罰を受けないのかも説明したわ。

ここまで前提を教えた所で、ようやく理不尽な相手に対しての取り立てや罰を与える存在の必要性を感じたんじゃないかしら？

今日の稽古はそうした裁きを下す存在。

エネルギーの取り立て人であり裁きを下す強力な審判者。

「リーパー」を生み出していくわ。

このリーパーは文字通りの「REAPER」

収穫者。稲を刈る者…死神ね。

リーパーは私情を交えない公正な裁きを行い、祝福を受けるべき者には祝福を与え、罰を受けるべき者には罰を与えるわ。

その裁きは公平にして厳格、まともな人間にとっては喜びで迎えられ、エナジーバンパイアにとっては悪魔よりも恐れられる存在ね。

リーパーはエネルギーとカルマの法則を元に生み出される存在だから、厳密に言えば君が作り出す存在ではないけど、あたしが教える技法によって存在を呼び出せるようにしていくわ。

一応注意しておくけど、リーパーはあくまでカルマの法則やエネルギーの法則に従い動く存在で君が全てをコントロールできる存在ではないわ。

裁きの量は、裁かれる相手のカルマや罪状によって変化するし、そのさじ加減は全てリーパーが行うから、これはいわば半自動に近いわね。

君がコントロールできる部分は、呼び出しやターゲットを決める部分などがメインになるけど、これには幾つかの理由があるし、リーパーに関しては君が完全制御できない点こそがメリットになっているから不便に感じる必要は無いわ。

それじゃひと通りの説明をした所で、リーパー呼び出しの実践パートに移ってね。